サンケイスポーツ　平成18年（2006年）9月15日　金曜日　<第三種郵便物認可>

Do! GOLF

2泊3日、一気に上達 ゴルフ留学

米国人ティーチングプロが本場レッスン

〝国内留学〟は、英会話だけではない？　米国のゴルフスクール「エキストラオーディナリーゴルフ」が今秋、滋賀・信楽CCで開校。米国のプロコーチが、合宿でレッスンする。パスポートなしで、外国人教師に学ぶ国内留学は英会話スクールのウリだが、ゴルフでもというわけ。本場の理論を吸収できるこのスクール、注目を集めそうだ。

今秋、滋賀・信楽CCで開校

英会話スクールの駅前留学のように、日本にいながらにして本場のレッスンを受けられる〝フェアウエー留学〟が登場した。特定非営利活動法人（NPO）の《エキストラオーディナリーラーニング》が、10月に2泊3日のゴルフ合宿を実施。渡米しなくても、米国から招いたティーチングプロの指導を受けられるというものだ。

日本にいながら

「渡米費用を考えると、かなりお得な料金です。米国人は、他国でのレッスンといっても質を落とすのを極度に嫌がりますから、欧米のツアープロを指導する〝本物〟のプロコーチが来る予定です」と、エキストラオーディナリーラーニング・北田秀司理事長。

レッスンを担当するのは、雑誌で全米ゴルフスクールベスト25に選ばれた米カリフォルニア州の「エキストラオーディナリーゴルフ」。欧州ツアーでプロコーチとして活躍中のギャリー・レスター氏ら2人が来日し、日本人コーチを合わせた3人で指導にあたる。

合宿は2泊3日。定員は先着12人だから、コーチ1人あたり4人の少人数制だ。つまり、〝個人レッスン感覚〟で学べるというわけ。

渡米費考えれば、お得20万円

受講料は、通訳料込みで20万円と、国内のレッスンに比べるとかなりの高値。しかし、現地で指導を受けた場合でも140万ドル（約17万円）という有名スクールだけに、「正直、レッスン収入だけでは赤字です」と、北田さんは言う。

本場のメニュー

レッスンメニューは、可能な限り本場のカリキュラムを再現。初日の午前中はパット、午後はショット練習で、2日目は早朝から名物のコースウオークを行う。これは何も持たずにコースを歩き、足の裏で大地を感じる訓練だとか。その後、ショットやアプローチを学んで2日目が終了。

最終日は午前中に練習したあと、ミーティングを実施。午後のハーフラウンドで仕上げとなる。適切な指導を受けながら朝から晩までたっぷり打ち込める、中身の濃い3日間だ。

日本にいながら本場・米国のコーチの指導を受けられるのは大きな魅力（上は信楽CC杉山コース）

デビッド・レッドベターやブッチ・ハーモンら、有名コーチが多士済々の米国は、スイング理論の面で世界最先端をいく。日本の有名ティーチングプロも、過去に米国の理論を学んだ経歴の持ち主が多い。

日本のプロの間でも、飯島茜がジョー・ティールに師事するなど、〝外国人コーチ派〟が増加中。アマチュアが彼らのコーチを受けるためには、まず英語を学び、多額の資金とパスポートを用意しなければならない。

関東では大人気

それを、渡米せずとも、本来の費用よりはるかに安く、しかも通訳付で体験できるこの合宿。すでに5年前から始まっている関東合宿は、リピーターですぐに予約が埋まるほどの人気という。

「3日間の密着レッスンで、ゴルフとはどういうものかを理解できると思います。解散時には、同じ時間を共有した12人が仲良くなっているでしょう」（北田さん）

練習場のワンポイントレッスンでスイングが劇的に良くなることは少ないが、朝から晩までゴルフ漬けの3日間なら、上達しないわけがない。飛距離もスコアも、英会話の駅前留学ではないが、グーンと〝ノバ〟してくれそうだ。

◇メモ◇

☆日程　10月18―20日。18日8時集合―20日18時30分解散

☆場所　滋賀・信楽CC杉山コース

☆受講料　1人20万円（練習場、コース利用料込み）

☆定員　先着12人

☆宿泊　希望者は実費でコース内ホテルに宿泊可能（自宅などからの通学でもOK）

☆問い合わせ　（エキストラオーディナリーラーニング☎03・3441・9122）